

令和5年9月30日（土） 関東大学女子駅伝対校選手権大会 応援（印西市）

参加者：3名 中大女子陸上競技部を応援し、中村哲郎監督に、石井支部長から激励の言葉とともに、寸志をお渡ししました。また、現地で、我孫子在住の、評議員・学員会副会長の小酒 修氏はじめ多くの応援に駆け付けた学員諸氏とも交流しました。中大は、みごとに第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（10月29日、仙台市陸上競技場発着）への出場権を獲得しました。

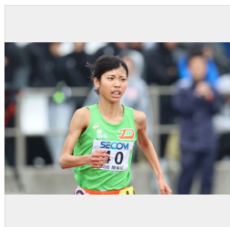




大東大が独走で7年ぶり4回目の優勝！玉川大、中大、順大が全日本出場権獲得／関東大学女子駅伝

9/30(土) 12:36 配信 3

月刊陸上競技



4区で区間賞を獲得し、チーム7年ぶりの優勝に貢献した鳥野萌々香（写真は5月の関東インカレ）

9月30日、第41回全日本大学女子駅伝の関東地区予選を兼ねた第29回関東大学女子駅伝が千葉県印西市の6区間34.4kmのコースで行われ、大東大が1時間52分25秒で7年ぶり4回目の優勝を果たした。

関東大学女子駅伝の総合成績をチェック

大会にはオープン参加を含め、前回より2チーム多い22チームが参加。大東大は1区で吉井優唯（1年）がトップと5秒差の3位でスタートを切ると、2区の藤原唯奈（3年）の区間賞でトップに浮上した。3区では留学生のサラ・ワンジル（1年）が区間2位で後続とのタイム差を1分以上に広げると、4区の鳥野萌々香（1年）、5区の野田真理耶（1年）、6区の四元桃奈（4年）がいずれも区間賞を獲得。昨年からの距離設定が変更となった新しいコースではあるものの、前回の日体大が樹立した大会記録を2分38秒も塗り替えて、悲願の全日本制覇に向けて弾みとした。

前回途中棄権となった城西大が1時間54分42秒で2位。3区の高橋葵（2年）が5位でタスキを受けると区間4位ながら3人をかわして2位に浮上。以降もその順位をキープした。連覇を狙った日体大が1時間55分28秒で3位。全日本大会のシード権を持たない4位玉川大、5位中大、6位順大が全国への出場権を手に入れている。また、全日本のシード権を保持する拓大は6区で途中棄権となった。

なお、今大会で出場権を得られなかった大学でも、全国を対象とした5000m6名の持ちタイムによる書類選考で上位5校に入れば全日本大学女子駅伝に出場権が与えられる。

第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会は10月29日、仙台市陸上競技場を発着とする6区間38kmで争われる。

【総合成績】第29回関東大学女子駅伝

1位	大東大	1時間52分25秒
2位	城西大	1時間54分42秒
3位	日体大	1時間55分28秒
4位	玉川大	1時間55分45秒
5位	中大	1時間55分53秒
6位	順大	1時間55分59秒
—以上、全日本大会出場—		
7位	東農大	1時間57分43秒
8位	東洋大	1時間57分58秒
9位	城西国際大	1時間58分53秒
10位	立教大	1時間59分03秒
11位	帝京科学大	1時間59分43秒
12位	筑波大	1時間59分48秒
13位	駿河台大	2時間03分22秒
14位	東女体大	2時間04分56秒
15位	松蔭大	2時間06分22秒
16位	東海大	2時間06分38秒
17位	国士大	2時間11分19秒
18位	群馬大	2時間22分21秒
	拓大	途中棄権
	東大大学院	途中棄権
	亜細亜大	途中棄権
オープン		
	東洋大B	2時間02分48秒